



羽合小学校 学校通信

平成27年8月27日 NO.39

文武併進

鳥取県こども造形展の審査が夏休み中に行われ、羽合小学校から15名が特選に選ばれました。

平成27年度 鳥取県こども造形展

【特選】

1年	川本 慧	長谷日和理
2年	入江 瑛汰	亀井 伶師
	谷村 侑祐	河田陽芽華
	福本 佳菜	
3年	松本 明佳	山本 希華
	細田 凜泉	
4年	前田 琉翔	吉野 禄人
	牧田 和輝	吉川 菜穂
6年	牧田 桃子	

おめでとうございます。

8月6日（木）に行われた県水泳大会で羽合小学校のこどもたちが大活躍でした。

第39回鳥取県小学校運動記録会（水泳）

於 米子市どらドラパーク米子水泳場

女子200Mメドレーリレー	羽合小学校	優勝
5年女子100M平泳ぎ	山名 歩花	優勝
6年女子50Mバタフライ	古川 鈴夏	優勝
5年女子50M背泳ぎ	宮城 歩優	優勝
【大会新記録】		
6年女子50M背泳ぎ	津村 紘華	優勝
5年女子50M平泳ぎ	杉原 夕	8位
女子200Mリレー	羽合小学校	優勝

よく頑張りました。

現在鳥取市の「県立図書館」や「とりぎん文化会館」が建っている場所には、260年ほど前から明治まで鳥取藩の藩校（藩の学校）「尚徳館」がありました。尚徳館は1757年（宝暦7年）に5代藩主池田重寛（しげのぶ）が開いたもので、明治大学を創立した岸本辰雄も尚徳館の出身です。県立図書館のとなりの公文書館の県庁側には、鳥取藩最後の藩主12代池田慶徳（よしのり）が1860年に建立させた「尚徳館碑」が残っています。碑文は隷書で書かれていますから内容はなかなか読み取れませんが「文武を共に学ぶ」ことの大切さが書かれています。勉強をすることと体を鍛えることは現在でも大切なことです。

「文武併進」とは、文や武いずれかに偏ることなく共に進めることで、心と体のバランスのよい成長ができるということです。その成長の中で、こどもたちは「これ！」という自分の最も得意なものを見つけ出していきます。だからまんべんなく文武併進である必要があるのです。

算数が分からない、水泳が苦手、絵が上手に描けない、走るのが苦手だからといって得意なものばかりしているようでは、本当の自分の才能を見いだせずになってしまうかもしれません。得手不得手ではなく何にでも取り組んで頑張ってみること、頑張れること、これが大事なのです。

2学期が始まります。「文武併進」の2学期にしましょう。

羽合小学校 寺谷英則